

日本野球規則委員会が発表したものを
千代田区軟式野球連盟で抜粋(朱書部分を改訂)しました

「公認 野球規則・2016」と
比較してごらんください。

2017年度 野球規則改訂対照表

2017/2/9

項	現 行 内容(抜粋)	改 正 箇 所 内容(抜粋)
3.05	一塁手のグラブ 一塁手の皮製グラブまたはミットの重量には制限がない。その大きさは、縦が先端から下端まで12 ¹ / ₂ "(30. 5 ¹ / ₂ "以下、… 【注】≪新≫我が国では、縦の大きさを先端から下端まで13 ¹ / ₂ "(33. 0 ¹ / ₂ "以下とする。	一塁手の皮製グラブまたはミットの重量には制限がない。その大きさは、縦が先端から下端まで13 ¹ / ₂ "(33. 0 ¹ / ₂ "以下、…………… 削除
3.06	野手のグラブ 捕手以外の野手の皮製グラブの重量には制限がない。…………… その大きさは、縦が4本の指の各先端から、ボールが入る箇所を通過してグラブの下端まで12 ¹ / ₂ "(30. 5 ¹ / ₂ "以下、… 【注】≪新≫我が国では、縦の大きさを先端から下端まで13 ¹ / ₂ "(33. 0 ¹ / ₂ "以下とする。	捕手以外の野手の皮製グラブの重量には制限がない。…………… その大きさは、縦が4本の指の各先端から、ボールが入る箇所を通過してグラブの下端まで13 ¹ / ₂ "(33. 0 ¹ / ₂ "以下、… 削除
3.07(a)	前段 投手用のグラブは縫い目、しめひも、網を含む全体が1色であることが必要で、しかもその色は白色、灰色以外のものでなければならない。 【注】アマチュア野球では、所属する連盟、協会の規定に従う。	投手のグラブは、縁取りを除き白色、灰色以外のものでなければならない。審判員の判断によるが、どんな方法であっても幻惑させるものであってはならない。 【注】アマチュア野球では、投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体(捕球面、背面、網)1色でなければならない。
3.09	【3. 03～3. 09原注】 審判員は、各項目に対する…	【3. 08原注】 審判員は、各項目に対する…
5.04(b)(4)	バッターボックスルール (A) 打者は打撃姿勢をとった後は、次の場合を除き、少なくとも一方の足をバッターボックス内に置いていなければならない。この場合は、打者はバッターボックスを離れてもよいが“ホームプレートを囲む土の部分、”を出てはならない。 i) 打者が投球に対してバットを振った場合。 ii) 打者が投球を避けてバッターボックスの外に出ざるを得なかった場合。 iii) いずれかのチームのメンバーが“タイム、”を要求し認められた場合。 iv) 守備側のプレーヤーがいずれかの塁で走者に対するプレイを企てた場合。 v) 打者がバントをするふりをした場合。 vi) 暴投または捕免が発生した場合。 vii) 投手がボールを受け取った後マウンドの土の部分離れた場合。 viii) 捕手が守備のためのシグナルを送るためキャッチャーボックスを離れた場合。 (B) 打者は、次の目的で“タイム、”が宣告されたときは、バッターボックスおよび“ホームプレートを囲む土の部分、”を離れることができる。 i) プレーヤーの交代 ii) いずれかのチームの協議	(A) 打者は打撃姿勢をとった後は、次の場合を除き、少なくとも一方の足をバッターボックス内に置いていなければならない。この場合は、打者はバッターボックスを離れてもよいが“ホームプレートを囲む土の部分、”を出てはならない。 i) 打者が投球に対してバットを振った場合。 ii) チェックスイングが塁審にリクエストされた場合。 iii) 打者が投球を避けてバランスを崩すか、バッターボックスの外に出ざるを得なかった場合。 iv) いずれかのチームのメンバーが“タイム、”を要求し認められた場合。 v) 守備側のプレーヤーがいずれかの塁で走者に対するプレイを企てた場合。 vi) 打者がバントをするふりをした場合。 vii) 暴投または捕免が発生した場合。 viii) 投手がボールを受け取った後マウンドの土の部分離れた場合。 ix) 捕手が守備のためのシグナルを送るためキャッチャーボックスを離れた場合。 (B) 打者は、次の目的で“タイム、”が宣告されたときは、バッターボックスおよび“ホームプレートを囲む土の部分、”を離れることができる。 i) 負傷または負傷の可能性のある場合。 ii) プレーヤーの交代 iii) いずれかのチームの協議
5.06(b) (3)(c)	野手が飛球を捕らえた後、ベンチまたはスタンド内に倒れこんだり、ロープを越えて観衆内(観衆が競技場内まで入っているとき)に倒れ込んだ場合。 【原注】野手が正規の捕球をした後、スタンド、観衆、ダッグアウト、またはその他ボールデッドの場所に倒れ込んだり、あるいは捕球した後ダッグアウトの中で倒れた場合、ボールデッドとなり、各走者は野手が倒れ込んだときの占有塁から1個の進塁が許される。	野手が飛球を捕らえた後、ボールデッドの箇所に踏み込んだり、倒れ込んだ場合。 【原注】野手が正規の捕球をした後、ボールデッドの箇所に踏み込んだり、倒れ込んだ場合、ボールデッドとなり、各走者は野手がボールデッドの箇所に入ったときの占有塁から1個の進塁が許される。
5.07(a)(2)	セットポジション 【注1】我が国では、本項【原注】の前段は適用しない。	アマチュア野球では、本項【原注】の前段は適用しない。 参考 【原注】前段 走者が塁にいない場合、セットポジションをとった投手は、必ずしも完全静止をする必要はない。